

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 25 日 (土) 19 時 00 分～21 時 10 分
3 開催場所	富津公民館 大ホール
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	(説明員) 佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 (事務局) 小柴行政管理課長、重城財政課長 (司会) 笹生総務課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	271 人 (定員 人)
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」に係る住民説明会 会議録

発言者	発言内容
総務課長	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、夜分お疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただ今から市の財政状況と経営改革に係る住民説明会を開催いたします。</p> <p>今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道につきまして、改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的として、小学校単位 11 地域で開催するものでございます。</p> <p>次に、説明の前に本日の説明員の紹介をさせていただきます。</p> <p>始めに、市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めます総務課の笹生と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、お手元に説明資料があるかご確認ください。大丈夫でしょうか？</p> <p>次に、ご質問につきましては、市長以下説明員の説明の後にお受けしたいと考えておりますので、あらかじめご了解をお願いいたします。</p> <p>なお、説明を含め、一応の終了時刻の目安を午後9時とさせていただきたいと存じますが、状況により変更をさせていただきたいと考えております。</p> <p>それでは、始めに市長からご説明を申し上げます。</p>
市長	<p>夜分、お疲れのところ、また、本来であればお寛ぎの時間に、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>進行から話ましたとおり、この度、富津市の財政状況につきまして、新聞、テレビ等の報道、あるいは、インターネットの記事等を通して、住民の皆さん方に、ご不安とご心配をおかけいたしましたことにつきまして、改めてご説明を申し上げたいと存じます。</p> <p>失礼ですが、座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さま方に正確にお知らせしなければならないことは、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、現在、赤字になっているわけではありません。</p> <p>また、破たんもさせません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もせず行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんしてしまう可能性があるということでございます。</p> <p>富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行って参りました。また、年々増加する社会保障費、あるいは、税収の減少などによりまして収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金であります財政調整基金を取り崩して参りました。</p>

富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことでもあります。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度に積み重なった赤字額が 22 億円となり、財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円であります。

現在、赤字になっているわけではありませんが、しかし、従前の財政収支改善策や、単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものでございます。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで皆さんから問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここにお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に、財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設や、維持管理費の高い施設などは、売却や、広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」であります。今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占めます「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、あらためて考える時期に来ていると考えます。民間に任せべき事務も多くなってきておりますので、また、サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。

「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の方を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供することは、公平性の観点から望ましいものではないと考えられます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。

「5 民間活力の活用」ですが、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと存じます。

次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。

ただ今申し上げました、これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。

今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくこととなっております。

最後に、この経営改革につきましては、私が先頭に立ち、職員一丸となって断行して参ります。

皆さまの更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、説明とさせていただきます。

次に、資料はございませんけれども、これまでの説明会での主な質疑内容につきまして、ご報告をさせていただきます。

まず、今回の報告関係につきまして、「どうして夕張市と同じや破たんの報道が出たのか」、ということですが、先ほど申し上げましたとおり、財政調整基金残高が、底をついたことから、3 か月ごとに定例記者会見を開催しているわけですが、8 月 29 日の定例記者会見におきまして、経営改革の取り組みのなかで、中期収支見込みを発表いたしました。

この説明では夕張のようになります、破たんしますというような記者発表をしたわけではございません。このまま何もしなければ、5 年後には財政再生団体のレベルに達してしまうので、今の段階で抜本的な改革を実行すると発表いたしました。その際、財政再生団体の説明で、夕張市を例にしてお話したことは事実でございます。これが報道機関によりまして特別にクローズアップされたところでございます。

次に、「イメージダウン回復の戦略」ですが、当たり前のことですが、できるだけ早く財源不足を解消し、そのことを住民の皆さんにお知らせできるよう、経営改革を断行して参ります。また、この間につきましても、改善状況につきまして、皆さんにお知らせして参ります。

次に、財政状況について、「身の丈にあったというのはどういう意味か」ということですが、歳入の一般財源の規模をもって、すべての経費を賄うということでありまして、具体的には、中期収支見込みで見込んだ一般財源 110 億円程度を見込んでおります。

次に、「固定資産税が減少するのはわかっていたのではないか」「計画の段階で先が見えなかったのか」ということですが、これ

まで市では 5 か年計画をはじめ、さまざまな計画を策定して参りました。その間リーマンショックや東日本大震災、また、障害者自立支援法など国の制度の相次ぐ見直し等の特殊要因があったにせよ、その計画が結果的に過大であったことは、真摯に反省しております。

次に、「市税の滞納額も財政悪化の要因では、徴収を強化すべきではないか」ということをございますけれども、これにつきましても今までもにも増して、滞納処分を強化して参ります。

次に、「国保などの社会保障費の増加は県や市町村の問題ではない、国への提言を怠っているのではないか」ということをございますが、これにつきましても、全国市長会などをとおしまして、強く国の方へ申し出ているところをございます。

次に、経営改革関係につきまして「経営改革での具体的な見直し対象は」ということをございますが、これにつきましても普通建設事業費のうち未着手事業につきましても、例外なく見直しをします。また、着手済みの事業につきましても、その効果を再検討し、見直して参ります。

職員数は、抜本的にスリム化します。

公共施設は、適正な水準に保ちます。

財政状況が厳しいからと言って、介護、国保のような法定サービスは安定した状態で運営を行います。

個人の市民税・固定資産税などの普通税を引き上げるようなことは当然ながらいたしません。

次に、「学校統廃合にこれだけ時間を要している状況で、経営改革を短期間で断行できるのか、全てをゼロベースで見直さなければならない」というご質疑をございますけれども、関豊小、環小が来年度から合併になります。市側の意見だけでは進められませんけれども、ただ今、教育委員会・教育部で計画を進めております。他の学校につきましても、順次地元の意見をお聞きしながら、進めていきたいと考えております。

また、経営改革は短期的なもの、中・長期的なものとは区別して進める必要があります。経営改革会議はこれら市の考え方を提示して意見をもらうかたちとなります。

次に、「改革にあたっての削減目標額は」ということをございますが、まずは、来年度予算で 3 億円の赤字を解消する、最終的に、今後 5 年間で 28 億円の赤字を解消するとともに、災害等に備え、できるだけ財政調整基金を積み増して参ります。

次に、「どんな事業をやめるのかははっきり示してほしい」ということをございますけれども、経営改革プランを作成するなかで、また、経営改革会議で議論していただき、示していきたいと考えております。

次に、「特別職報酬と一般職の給与削減は実施しないのか」ということをございますけれども、現在私が 15%、また副市長が 14%、教育長が 13%の報酬削減、また一般職は 4%の給与削減などを実施しておりますけれども、特別職につきましても、更なる見直しを実施して参りたいと思います。

次に、「震災時の状況から、職員数削減以前に事務事業の見直しを優先すべきではないか」というご質疑がございました。当然、事務事業の見直しは実行して参りますが、並行して我々が標準と考える職員数まで削減を実行して参ります。

次に、「経営改革会議はどのような人で何名か」ということとございますけれども、国地方行政経験がある、また会計制度に精通した大学教授 2 人、公認会計士 1 人、会社社長 1 人、県行政に精通しております県庁職員 O B 1 人の計 5 人でございます。

次に、「経営改革会議委員に市民を入れないのはなぜですか」ということとございますが、客観的な視点から富津市の状況について議論していただくことを考えまして、今回は外部有識者の、ただ今申し上げました大学教授をはじめとする、委員構成といたしました。

次に、その他についてですが、「議会の取り組みは」ということとご質問がございます。これにつきましては、執行部とは別に、議会自ら、いろいろな角度からの改革を検討されていると伺っているところでございます。

次に、「市民との対話の機会が少ない」ということとございますが、これにつきましては、過去、対話集会を何度か実施いたしました。また今後も、他のテーマを含めまして、対話集会の機会を作っていきたいと考えております。

次に、「市長の決意表明は」ということとございますけれども、現在の財政状況を回復させることが私の使命であります。私の任期中できるだけ早く住民の皆さんにより報告ができるよう、経営改革を断行して参ります。

破綻はさせません。

以上で、ご報告を終わらせていただきます。

総務課長

続きまして、補足説明を副市長及び両部長からご説明申し上げます。

副市長

皆さまこんばんは。

本日は、週末本来であればお寛ぎの時間だと思います。そのようななか、このように大勢の皆さまにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

また、今回私ども経営改革についての記者会見・マスコミ報道に対しましてについて、皆さまに大変なご心配をおかけしておりますことを、この場をお借りしてお詫びを申し上げたいと思います。

大変失礼ですが、説明に関しては、着座にて進めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

ただ今、市長が申し上げました経営改革の取り組みにつきましては、市長の命を受けまして、私の指示により、市役所全庁を挙げ、既に取り組みを始めさせていただいております。市役所内部に関することにつきましては、あらゆる事務事業を広い視野と、可能性を諦めることなく、見直し、確認することを指示いたしますとともに、職員の提案や意見も取り入れ、作業に入らせていただいております。また、今後

	<p>につきましては、経営改革会議のご意見を伺いながら、経営改革全般の方向性を取りまとめて参りたいと考えております。</p> <p>差し迫りまして来年度予算につきましてでございますが、できるものから即実行して参ります。</p> <p>本日は、この後、財政状況につきましては、企画財政部長から、これまでの行政改革の取り組みにつきましては、総務部長から説明いたしますので、お聞き取りいただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>皆さまにおかれましては、今後の経営改革断行にご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>市長から「市の財政状況」につきまして説明いたしましたところでございますが、私からは「このような財政状況に至った原因」につきまして、補足させていただきます。恐縮でございますが着席させていただきます。</p> <p>本市では、平成 11 年度にそれ以前の事業の借入金により、債務が増大したことから「財政非常事態宣言」をいたしました。</p> <p>そこで、債務を減少させ危機的な状況を回避するため、平成 11 年に「財政健全化計画」を策定し、これに基づき財政の健全化に向けて計画を実行し、その効果により債務が減少したことから、平成 17 年度には「財政非常事態宣言」を解除し、その後もそこで定めた財政収支改善策を恒久的なものとして取り組んできたところであります。</p> <p>しかしながら、昭和 60 年から続く生産年齢人口の減少や、長引く景気の低迷による個人・法人の市民税の減収や、当市の税収の根幹であります、固定資産税の大幅な減収に加え、生活保護者の増加や、高齢化の進行によります障がい者や、介護を必要とする方々が増加いたしまして、扶助費などが、毎年増え続け、年々財政運営は厳しさを増しております。</p> <p>このような状況のなかで、歳入の減少に対応しました職員の定員管理を中心とする総人件費の抑制も不十分であったこと、また、近年、財政調整基金を活用して、総合計画をはじめとします、様々な計画に基づく事業を行ってきたところですが、その計画が結果的に過大であったことも、今般の状況に至った原因と考えております。</p> <p>今回公表しました、来年度の財源不足額は、3 億円ではありますが、その一般財源総額 110 億円に占める割合は 3% であり、夕張市の場合は、700% ですので、これとはまったく状況が異なり、比較にはなりません。</p> <p>経営改革の実行によりまして、十分回復可能な数字であることをご理解いただければと存じます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>総務部長</p>	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>私からは、今まで取り組んで参りました財政健全化対策、財政収支改善策、行財政改革につきましてご説明をさせていただきます。着座にて失礼させていただきます。</p> <p>まず、財政健全化対策でございますが、平成 5 年度から財政非常事</p>

	<p>態宣言の 16 年度まで実施をして参りました。また、財政非常事態宣言を解除いたしました、平成 17 年度からは財政収支改善策を実施して参りました。</p> <p>これに並行いたしまして、行財政改革を、平成 11 年度から 15 年度までを第一次とし、平成 16 年度から 21 年度までを第二次、平成 22 年度から 24 年度までを第三次といたしまして推進をして参りました。</p> <p>まず、歳入確保策といたしまして、各種基金の設置目的に沿った処分や、未利用地の売却処分などでございます。未利用地の売却処分につきましては、現在でも引き続き実行しております。</p> <p>次に、人件費の削減といたしまして、職員数の削減、特別職の報酬カットや職員給与の昇給延伸などの抑制、手当の引下げ、議員等の定数削減や手当の見直し、学校用務員や調理場調理員の非常勤化などでございます。</p> <p>次に、維持管理費などの削減といたしまして、市営バスの廃止や、公共借地の見直しなどでございます。</p> <p>最後に、補助金や交付金などの削減といたしまして、補助金等の見直しを実施して参りました。</p> <p>これら総合計といたしまして約 117 億円の削減となっております。</p> <p>簡単で申し訳ございませんが、以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>以上で説明が終了いたしました。</p> <p>ただ今からご質問を受けたいと存じます。恐れ入りますが、質問につきましては、挙手にてお願いいたします。マイクが届いてからご発言されるようご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、ご質問ございますでしょうか。</p>
<p>(市民①-1)</p>	<p>うちの近くに全然知らない人の建物があり、生活保護者が来ています。生活保護目当てで富津に人が流れているのではないですか。市は改革をしていると言いますが、皆さんが一生懸命仕事をしているようには思えません。全然知らない人に生活保護費をあげるのはおかしいし、市役所の人ではきばき仕事をしていません。「3%の給与削減をしています。」とは言いますが、税金をいくらもらっているのですか。今の私たちはそんなに給料をもらっていません。もうちょっと分かりやすく誠実に、何を市民のためにしてくれているのか言ってもらえますか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>職員の勤務態度について、そのように見えているのであれば申し訳ありません。一生懸命やっている職員もおります。そうでない職員がいるというお叱りですが、まず、職員の意識を変えるということを強く言っておりますし、少しずつ変わってきていると思います。意識が改善した実感がないということについても、職員が一致団結し、意識改革をさらに徹底します。</p> <p>給与削減については、一律 4%を実施しておりますが、職員ごとに給与の金額が異なりますので、削減額もばらつきがあります。</p>

<p>企画財政部長</p> <p>(市民①-2)</p>	<p>生活保護者については、該当者が実際にいる市町村で扶助費を支払うこととなりますが、ケースワーカーなどが適正な審査を行います。</p> <p>今までは審査が適正ではなかったということですか。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民①-3)</p>	<p>今までも適正に行っていました。しかし、そのようなケースを踏まえてより適正になるように審査を行います。</p> <p>聞いた話ですが、自宅の近くには刑務所から出てきた人もいるようで、知らない人がたくさんいることが不安で、治安が悪化していると思います。今までだったら、少しの時間は戸が開いていてもトラブルにはなりませんでしたが、今となっては周辺で何軒か泥棒の被害にあっています。外から来る保護者に関しては出入国並みのより厳しい審査にならないと困ります。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民①-4)</p>	<p>治安対策については、「安全・安心なまちづくり」という市長の施策がありますので、警察や地域コミュニティとの連携で対応したい。</p> <p>図書館建設の噂を聞きますが、予定はありますか。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民①-5)</p>	<p>総合計画に記載はありますが、具体的な動きはありません。</p> <p>市民の反対が多かったら、計画自体を破棄するべきではないですか。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民①-6)</p>	<p>予定地や設計などの動きはありません。市民の意見を取り入れられればと思います。</p> <p>市長の説明に「ハコモノの見直し」がありました。本を読みたいときは、君津の図書館で十分間に合っています。仮に消防防災センターの裏に図書館ができて維持費がかかってしまい、かえって困ります。</p>
<p>市長</p> <p>(市民②-1)</p>	<p>現在の計画については見直すところですが、図書館については、計画自体の見直しをしなければならないと思います。候補地はそのとおりの場所ですが、時間的・内容的なことを含めて計画見直しを行います。</p> <p>正直言って、市役所の皆さんはこの事態に対する認識が足りないと感じます。まだ赤字ではないということですが、財政調整基金を取り崩した結果でしかありません。しかも何度も積み重なって来ています。その甘さがこの事態の原因です。</p> <p>夕張みたいにはならないとのことですが、夕張のことを皆さんはどのくらい知っていますか。炭鉱の街から観光の街に切り替わろうというんなハコモノを造ったことが財政の重荷になり、ごまかすようにな</p>

	<p>った果てに国の管理下になったところです。職員は破たん前の半分で、市長の給料は 20 万円台です。そのくらいの認識はありますか。</p> <p>報道で与えたインパクトは相当大きいです。若い働ける世代は出ていきます。どうしても年寄りが残りますからますます苦しくなります。</p> <p>収入がなくて、出るものばかりで市に何ができるのですか。今の想定よりもっともっと厳しく改革してほしいです。この状態は企業で言うなら営業赤字です。そのごまかしが、私たちや子孫の生活にもかかってきます。そのあたりをどのように考えているか具体的をお願いします。例えば、給料を下げるなら更に下げれば良いと思います。市民サービスもお互い様です。</p> <p>また、議会も改革を進めていると説明にありましたが、市の予算・決算を審査・承認するのは議会ですから、議会にも責任があります。他自治体と比べても議員報酬が高い方になるなかで、住民の投票をいただいている議員の皆さんがどれだけ真剣に改革を行いますか。この現状ですから、職員・議員の給料削減や余分な出費の見直しはどんどん行うべきです。</p> <p>民間では当たり前ですが、市役所は指をくわえて待っているだけです。この状態ではいずれ財政破たんになると私は思います。国の管理下になったら、予算も国の承認が必要です。地方債の発行もできません。これがどれほどの事態なのか市幹部の皆さんが認識して、市民に説明して下さい。</p>
市長	<p>私自身の給与については、現在 15%削減しているところですが、平成 27 年度はさらに削減します。事業については未着手・進行中のもの問わず、その費用対効果を見極めて見直しできるものは行います。今までと同じやり方ではなく、改革を断行しなければ何も変わりません。まず、平成 27 年度のマイナス分をすべて解消できるよう進めていきたいので、ご理解ください。</p>
(市民②-2)	<p>今、具体的な話ができなくても仕方ありません。しかし、改革を早く進めないと、日本全体の現象である少子高齢化などもあります。まして、富津市は少子高齢化がさらに早いペースで進行します。そうすると収入は減って社会保障費が増大しますが、これは分かっていたはずですが。だからこそ、一連の報道がこのタイミングで出た理由を聞かせてほしい。もっと早く手をつけてもよかったのではないですか。</p>
企画財政部長	<p>財政調整基金は、財源調整や災害対応に使うためのものです。近年の人件費や扶助費が膨らむなか、安全・安心が求められるなかで学校の耐震化や消防防災センターが必要となったため、財政調整基金を取り崩すことになったことは反省しております。改革のスピード感が求められるなかで、平成 27 年度の予算編成はすでに始まっております。これについては、一般財源 110 億円のなかで全ての経費が賄えるようにし、マイナス分も吸収できるように、各部署に市長の指示のもと取り組んでおります。</p>

<p>(市民②-3)</p>	<p>そもそも、財政調整基金は災害などの非常時に使うべきもので、通常の予算に組み込むべきものではないということですが、それが当たり前になっていました。健全な財政運営はその年の財源だけで賄える状態だと思いますが、それができなかったこと自体を重くみなかったことは認識が甘いと思います。貯金をとり崩すのは家計なら赤字だということをお分かってください。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>真摯に受け止めて取り組んで参ります。</p>
<p>(市民③-1)</p>	<p>青木に富津連絡所がありますが、同様の支所は市内に何カ所ありますか。</p> <p>自分が行ったとき、市民は誰も行ってないのではないかと思います。市役所に行くと、窓口の人は一生懸命ですが、奥にいる人は無駄話をしています。順番待ちの人がいても奥の方は対応してくれませんが「何をやっているのか。」と思います。</p> <p>職員数を減らすとのことですが、具体的に、いつ・どのくらい減らすのか、また支所はいらないのではないかと思います。民間では、苦しい時は給料が下がります、しかし、黒字にしてその分返ってくるようにみんなで頑張るわけです。市職員の末端まで意識は伝わっていますか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>最初の女性の時にも職員の態度についてご指摘がありましたが、今一度陳謝いたします。職員全員、一人ひとりが頑張って、「職員の質が良くなったね。」と言われるように、改善するよう指導しております。</p> <p>また、出先機関ですが、富津連絡所と峰上出張所があります。金谷と関豊にも連絡所があり、特定の曜日の日中または半日開設しています。さらに、中央公民館と水道部にも連絡所があり、その施設の職員が兼務という形で業務をしています。これらの来庁者数については、データ自体はありますが、この場に資料としてはありませんのでご了承ください。</p> <p>職員数の削減目標については、今年の 4 月 1 日で 508 人です。来年の 3 月で定年・勸奨などで退職する職員が 40 人の予定で、新規採用は 3 人の予定ですので、37 人減る予定です。これで終わりではなく、最終的にどの程度の人数が適正なのかを見極めて削減を進めていきます。</p>
<p>(市民③-2)</p>	<p>金谷に美術館がありますが、あれは市営ですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>金谷美術館は市営ではありません。</p>
<p>(市民④-1)</p>	<p>各会場でこの説明会を開く前に、職員にはどのような説明をしていますか。全員が把握していますか。それとも一部の担当部署の人だけが全容を把握していますか。</p>

<p>総務部長</p>	<p>また、改革の実行について、書いてあるメニューは、来年度の当初計画でどの程度算入・実行していきますか。また、反映させるために経営改革会議で意見を詰めますか。</p> <p>そして、職員給与について、部長・課長・課長補佐・係長は分かりますが、次長や主幹はどんな仕事をする立場の職員ですか。また、給与も上がると思いますが、そのためだけのポストだとしたら経営を圧迫するだけだと思いますがどうでしょうか。</p> <p>あと、「聖域なき抜本的な見直し」とありますが、税収の確保は見直しとは別分野になると思います。</p> <p>職員周知については、部局長による庁議があり、そこで担当部署が説明します。それを各部局長が各課長に説明し、下に周知する形をとっています。</p> <p>経営改革会議は 10 月 31 日に第 1 回ですが、予算編成はすでに始まっています。経営改革のうち短期で行わなければいけないものは、平成 27 年度予算を少なくとも 3 億円は改善しないとイケないことを前提として各部署に説明し、予算編成を指示しております。短期的なものについては、職員数削減もその一つになります。来年・再来年以降については経営改革会議で問題提起・意見を反映したなかで削減などを検討します。</p> <p>また、次長・主幹の位置づけですが、主幹は課長級のため課長と同じ給与で、課長が課の統括をするなかで主幹が置かれています。主幹は一つに限りませんが、特命的な役割を与えられています。次長も給与は課長・主幹と同じ等級で、部長と課長・主幹の間の立場になりますが、現在は 2 人です。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>税収の強化については、滞納対策として、差押えなどを継続的に実施していきます。また、住民税については特別徴収を徹底する考えです。</p>
<p>(市民④-2)</p>	<p>末端の職員からの意見吸い上げは行っていますか。職員の意識向上と財政立て直しのためにも、ぜひ実施してもらいたいです。</p>
<p>総務部長</p>	<p>各課から意見があった場合は、庁議で提案することもあります。また、個人の職員提案も制度化してその都度受け付けています。若い職員で意見を持っている場合は、それを聞き、現場を見て対応しております。</p>
<p>(市民⑤-1)</p>	<p>館山道のバスのストップの建設が本当か具体的にお願いします。また議員の削減について説明がありましたが、更なる削減は考えていますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>バスのストップについては、富津中央インターチェンジの南にある浅間山に建設を予定しています。内房線の君津以南が単線のため、それ</p>

<p>総務部長</p>	<p>を補完する意味合いがあります。現在の高速バスは東京方面が上下 30 便ですが、バスストップができれば 60 便に増やせる見込みです。また、新たに千葉方面や横浜・羽田方面の発着も考えております。位置については、国が決定し、手続きしております。すでに計画はありますが、今回の事態となっておりますので、再検討をするところです。</p>
<p>(市民⑤-2)</p>	<p>議員の削減については、議会が検討委員会でさまざまな事項を検討していると聞いております。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>バスストップについて、どれくらいの費用がかかりますか。</p>
<p>(市民⑤-3)</p>	<p>来年度からとなりますが、債務負担行為で約 5 億円を支払う見込みです。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>今の時期に費用を捻出して行うことですか。館山方面はそこまでするほど需要がありますか。既存のバスストップをもっと使えばいいと思います。</p>
<p>(市民⑤-4)</p>	<p>この事業は平成 30 年度の館山道 4 車線化と並行しています。現在、白浜～東京の高速バスがありますが、竹岡・上総湊のバス停を使うには国道 127 号に降りる必要がありますが、バスストップができれば市内に停車するバスの数を増やすことができます。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>その見込みが甘いと思います。この事態にもかかわらず 5 億円もかけることが市民として納得いきません。すでに決定してしまったのですか。</p>
<p>(市民⑤-5)</p>	<p>予算上は来年度からとなりますが、事業効果の検証・財源を勘案して検討します。</p>
<p>(市民⑥)</p>	<p>ぜひ、慎重な検討をお願いします。</p>
<p>(市民⑦)</p>	<p>今回の報道で富津市のイメージがかなりダウンしました。これによる観光への影響や転入・転出による人口減、企業の進出などのマイナス面がすごく大きいと思います。それを含めて経営改革会議を行ってもらい、ゼロベースではなくマイナスから始まっていると思って改革に臨んで下さい。</p>
<p>(市民⑦)</p>	<p>バスターミナルについて私は、高速道路は週に 2 回以上利用してました。例えば、昨年度は午前中 10 時～11 時台に上総湊駅から乗りましたが、利用者は 1～2 人です。青木に引っ越してきて、青堀駅・上総湊駅から高速バスを使いますが、いつも 1～2 人です。この状態で、湊のコメリ前のバイパスも車がほとんど通っていないような場所にバスストップを作って何人利用するのでしょうか。</p>

また、聞いた話では 12 億円捻出する必要があるとのこと。国の支援があっても半分の 5～6 億円は市が負担するわけ。現状では市民会館にタダで車を置いても問題ないのでそれなら利用価値がありますが、有料駐車場を作ると負担が増えるので利用する人も少なくなると思います。

さらに、青木から浅間山まで下って高速バスを使う人はほぼいないと思いますので、この事業が採算取れるかというところすごく疑問に思います。木更津の羽鳥野のような新興住宅や君津バスターミナルの近くにある新しい住宅街は都心の人たちが 40 分程度で都内に行けるということで栄えた場所です。もう少し遠い立地で元の人口が少ないなか、バスストップを作ったら経営改革前の計画と同じだと思います。

東日本大震災の頃に青木に引っ越しましたが、津波を考えるとものすごく悩みました。それでも、今は富津に来てすごくよかったと思います。この決断が正しかったと思いたいところですが、子どもたちも目の前の将来を控えるなかでこんな宣言をされたら、本当に暗い気持ちになった人がいっぱいいると思います。夢や希望も持てないです。

頑張っている生活している人が大勢いますが、こういう説明会に来ない住民が不思議でなりません。この事態を招いたのは住民にも責任があると思います。自分たちや子孫の将来にかかわることであり、自分たちの老後に関わる大切なサービスや子どもたちの就職先につながる大変な話だとは思いませんか。

国道 16 号を地図で見ると神奈川から関東を一周する要の土地です。天候もよく温暖で、お米がおいしいのはびっくりしました。それなのに破たん危機を迎えているのはおかしいと思いませんか。全国で下から 1 番 2 番というのはありえないです。

お金はなくても挽回できます。市長が議会にいろんな提案をして、「住民活動がこんなに活発になったから赤字財政を乗り越えられました。」と言えるようにしませんか。そうでなければ辞めていくらいです。

経営改革会議に参加する有識者はどの会社の社長や大学の教授ですか。5 人の経営改革会議のほかに市民の皆さんの意見を吸い上げることも重要だと思います。

また、東電のお金が入らないとのことですが、社員の給料はすごくいいですから、固定資産税などはなかなか請求できないと思いますが、強く胸を張って訴えてほしいです。ほかに、浅間山の砂利処理は自然破壊の側面はあるかもしれませんが、都会の埋め立てにすごく貢献していると思います。それから、職員の給与削減について、東京都の市民対応数を千葉県に適用すると半額になります。人員整理もいいですが、若い人たちに仕事を与えられるようにするとともに、やる仕事に見合った給与にしてもいいと思います。

市長

イメージダウンについては、大変申し訳なく思っています。少し激しい言葉が取り上げられてしまったことはありますが、私含め職員一同一丸となってイメージ回復に努めたいと思います。その際には皆さ

<p>総務部長</p>	<p>んのご協力・ご支援を賜って進めたいと思います。</p> <p>都会から富津に来ていただいてありがたい限りです。私たちは生まれてからずっと富津にいますが、それに負けない気持ちを持っていると感じました。</p> <p>経営改革会議の人選については名前を申し上げます。原田賢一郎さん、北海道大学公共政策大学院教授です。大塚成男さん、千葉大学大学院人文社会科学部研究科長・教授です。落合幸隆さん、落合公認会計士事務所 公認会計士・税理士です。笠原文善さん、株式会社キミカ代表取締役社長です。堺谷操さん、元千葉県県土整備部理事です。以上の 5 人となります。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>バスストップについては、竹岡と上総湊にあり、76/日の利用となっています。浅間山バスストップの建設により 190 人/日程度の利用を見込んでいます。そのなかで、先ほども申し上げましたが、財源と事業効果を再検証して実施の判断をいたします。</p>
<p>(市民⑧-1)</p>	<p>支出を抑える政策も必要だと思いますが、並行して税収を上げる政策として、企業誘致や、今話題のカジノ構想は手を挙げないのでしょうか。それ自体がいい悪いは別として、税収が上がりそうな事業に手を上げるような動きがないことに不安を覚えます。市長自ら営業マンとなって富津を宣伝・誘致をしていただきたい。</p> <p>また、地方創生相が新設されましたが、そういうところにアドバイスを受けに行ってはどうか。よそから引っ越して来た身としては、気候も良く、羽田や成田から近い立地ですごくいいところだと思っていたところにこんな話が飛び込んできたのでびっくりしています。後ろ向きな政策ばかりではなく、前向きな政策をしていただきたい。</p> <p>もうひとつ、観光大使が各市町村にいて、富津市の有名人というところ、相撲の花田虎上さんはテレビで見たことがあります。元手がなくても宣伝していただけるかたちもありがたいですが、イベントの収支で観光大使に任命するようなやり方や、富津岬の命名権を売るといった方法もあると思います。市役所にプレゼンテーション能力のある職員がいるかはわかりませんが、それができないと東京オリンピック関連の誘致もできません。そういった役割は住民からチョイスしてもいいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>埋立地の企業誘致は 53 社が進出しています。残りの約 10 ヘクタールについても誘致を進めております。</p> <p>観光大使については、地元出身の保田圭さんと、井上由美子さんの 2 人をお願いしてあります。ほかにも地元出身の方がおりますので、例えば、花田さんも交渉の候補になると思います。</p> <p>地方創生の関係は、富津市としてどのようなことがアピールできるか、大臣にお会いできるようコンタクトをとっております。</p>

<p>(市民⑧-2)</p>	<p>カジノについては、国でも議員連盟でやっており、県知事も誘致活動をしております。命名権について、第一海堡は地籍が富津市であっても所管が財務省なので、こちらで命名権を売却していいものではなく、そもそも終戦以来の不発弾の関係で上陸ができない場所なので、それが解除できれば、国に保存をしてもらうなど、今後の検討課題にあると思います。</p> <p>命名権について、先ほどは富津岬を例にしましたが、ふれあい公園など、他の施設でもいいと思います。とにかく、頭を柔軟にして税收確保の政策を進めてほしい。市役所の方はどうしても頑なので、こういうのはばかっていると思うかもしれませんが、笑い飛ばせる場面ではないので、小さなことでも可能性があればトライする姿勢を見せてほしいし、青木のイオン周辺の道路における切り下げなどの規制をしてほしい。あの一帯は商業地域としてもっと栄えてもいいと思いますが、現状は住宅街か空き地で全然店が入ってこないの、特区として商業の見直しを考えてもいいと思います。</p> <p>また、経営改革会議について、有識者は経済には長けていると思いますが、アイデアやプレゼンテーション能力のある人たちにも入ってもらい、並行して収入増の政策を行ってほしいです。</p>
<p>(市民⑨)</p>	<p>「第二の夕張」というセンセーショナルな見出しを見て、「これは大変だ」と思いましたが、多くの方は実際の富津市の財政状況をその記事のなかでは認識できなかったと思います。私たちが知らない間にこの状態になったということで、今後の再建計画があるようですが、これがどのように達成されるのか、私たちが常に確認できる形で経過報告してもらいたい。</p>
<p>総務部長</p>	<p>経営改革会議について、初回の傍聴人数が少ないというお叱りも受けていますが、今年度は5回ほど行う予定です。そのなかで、全員が足を運ぶ・見るわけではありませんので、どの方法なら早く市民の皆さんに周知できるかを考えなければいけません。会議内で決まったことや検討中の事項を、逐次、広報紙やホームページで報告したいと思います。</p>
<p>(市民⑩-1)</p>	<p>バスストップについて、計画がストップする可能性もあるということですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>その可能性も含んでおります。</p>
<p>(市民⑩-2)</p>	<p>過去の利用者数を聞いてびっくりしました。そんな状況でも5億円もかけてまで作るメリットは何ですか。やめた方がいいと思います。バスストップはネクスコ東日本高速道路株式会社に「作れ」と言われたのですか。</p>

企画財政部長	市から市南部の活性化の意味合いを兼ねてお願いしております。
(市民⑩-3)	市からお願いしているのであれば取り下げればよいと思います。
(市民⑩-1)	図書館建設の計画について、見直しも考えているとのことですが、若い人がいなくなって年寄りが残るなかで誰が図書館を使うのかということになります。当初の何十億もかかる計画にお金を使ってほしいという住民はほとんどいないと思います。私たちは図書館ができて使う人がほとんどいないと思いますがどうでしょうか。
企画財政部長	この収支見込みのなかで、図書館建設の費用は計上していません。
(市民⑩-2)	計画の時点でどのくらいの人を使うのか、そういったものを当然考えていると思います。必要なものということで作ろうとしても、利用者がいないのであれば「あってはいけないもの」になってしまいます。
市長	図書館については、「ぜひ作ってほしい」という方もいます。計画については、当初の時点から時勢が変わったことで、もう一度見直し、変更が必要な事項もあります。時間的にはかなり延びると思いますが、計画を見直したいと思います。
(市民⑩-3)	必要だと思う人がいるのは当たり前です。しかし、大概の人はいらなと思っています。当初計画時の利用者数とそれが維持できるかはどんな想定をしていましたか。
市長	当初の計画では、保健センターのようなものを含めた複合施設でしたので、それを含めた見直しが必要です。申し訳ありませんが、手元に資料がないので、詳しい規模・人数はお答えできません。
(市民⑫-1)	はっきりとした答えが出ていないです。バスストップにしても 200 人程度の利用者に対して 46,000 人が「やめてくれ」と言っているのに、今説得する必要がありますか。また、誰が責任を取りますか。
市長	バスストップについては、館山道 4 車線化と並行して行う事業で、南部地区の活性化と定住促進のために進めています。また、127 号経由では市内に停留する高速バスが少ないのに対し、バスストップであれば多くのバスが停留できます。佐貫以南出身で、通勤手段がないために地元を離れている方がいるなかで、その人たちが戻ってくる可能性があるだろうということで進めています。これについては、現在市南部に住んでいる人たちが流出しないように、あるいは戻って来てもらえるようにする定住政策の一つです。
(市民⑫-2)	それは答えになっていません。47,000 人の市が破たんに向かっているところですよ。今の進め方は全然危機感がありません。

<p>市長</p>	<p>今申し上げた地域の関係もあります。なんとか人口を減らさず、増えるようになればと思います。事業については見直しの対象になりますので、必要ないという声がありましたが、作ってほしいという声もありますので、双方の意見を聞いて検討したいと思います。</p>
<p>(市民⑫-3)</p>	<p>議会の改革は議会で進めているという話がありましたが、議員を半減するとか具体的な話はありませんか。聞いた話では年間通じて質疑応答をしない議員もいるとのことですので、こういったことも検討課題に入っていますでしょうか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>先ほども説明しましたが、議会改革検討委員会で検討していると聞いております。</p>
<p>(市民⑬-1)</p>	<p>暗い話ばかりのなかで、明るい話もお聞きしたいです。 埋立地の企業誘致が 95%も埋まっているなかで、東電からお金が入らないこと副市長もテレビでおっしゃっていました。東電以外の企業については 5 年間の奨励があるとは聞きますが、裏を返せば 4~5 年経てばその企業さんからも大きな収入があるものと思いますので、その見通しを教えてください。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>企業誘致における奨励金は、いったん、固定資産税を支払っていただいてから、投資金や従業員数によって 3 年間の奨励をしております。今後は、平成 30 年頃に企業の投資があり、固定資産税を見込んでいます。</p>
<p>(市民⑬-2)</p>	<p>富津の民宿は、他の企業の方が来て繁盛していましたが、今となつては各企業が自前の送迎で遠方の通勤者を送り迎えしてしまいます。なので、企業からの収入がいつごろ入るのかをはっきり示してほしいです。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>3 年経過したら奨励金が終わりますので、その後は固定資産税が入ります。</p>
<p>(市民⑭)</p>	<p>自分は柏から来ておりまして、公務員志望として学びたいことがあるので参加しています。おそらく、こうした「破たん」危機は富津に限らずどこでも起きることだと思います。しかし、逆に富津が立て直しに成功すればそれが財政再建のモデルケースになっていい評価になると思うので、ぜひ頑張ってください。 それにあたって、インターネットで一通り資料を調べようと思いましたが、どこをあたればいいかわからなかったもので、経営改革に関する独自のページをみましたが、実際には、中期収支見込みなどのページが点々としていたので、うまくまとめていただければありがたいと思います。それによって他自治体の人やここに来ていない人も見るこ</p>

<p>(市民⑮)</p>	<p>とができますので、ぜひお願いします。</p>
<p>総務部長</p>	<p>確認ですが、今回の説明会の議事録はとってありますか。</p>
<p>総務課長</p>	<p>各会場でとってあります。まずは皆さんへの説明で対応しておりますので、少しお時間をいただくこととなりますが、ご理解いただきたいです。</p>
<p>市長</p>	<p>最後に、市長からご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、遅い時間までご参集いただきまして、ありがとうございます。いろいろ皆さま方から、ご意見・ご指摘をいただきました。それにつきまして、胸にしっかり受け止めて、経営改革を断行して参りたいと思います。</p> <p>皆さま方の今まで以上のご支援・ご協力を賜りながら、しっかりと破たんさせないように進めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>
<p>総務課長</p>	<p>以上で説明会を終了させていただきます。</p>

以上